

第13回 YGN 若手勉強会  
「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」

来る11月1日、日本原子力学会・若手連絡会（YGN）は、「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」と題する勉強会を開催致します。

近年、社会・経済の脱炭素化をめぐる議論が活発になってきています。2015年に採択されたパリ協定では、世界全体の気温上昇を産業革命以前と比べて2°Cよりも十分低く保ち、また1.5°Cに抑える努力を追求すること等を目的に掲げ、今世紀後半には「温室効果ガスの排出と吸収を平衡させること」（いわゆるネットゼロ）を目指しています。

科学の分野では、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が昨年10月に公表した「1.5°C特別報告書」が注目されています。この「1.5°C特別報告書」では、平均気温が2°C上昇した場合と1.5°C上昇した場合の影響の違いに関する最新の科学的知見をとりまとめ、気温上昇を1.5°Cに抑えるためのグローバルな排出削減のシナリオを分析しています。

社会・経済の脱炭素化には、エネルギー部門も含めて大幅な変化・転換が必要となり、様々な革新的な技術の導入も求められます。本年6月に閣議決定された「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」においても、原子力技術も含めて、イノベーションの重要性が強調されています。

本勉強会では、このような大きな社会的文脈の中で原子力の将来を考えるため、科学・技術・政策の各方面から専門家・実務家の方々をお招きし、特に原子力分野で求められるイノベーションについて議論します。

- 記 -

【日時】 2019年11月1日（金） 14:00-17:30

【場所】 東京工業大学(田町キャンパス)キャンパスイノベーションセンター国際会議室  
(アクセス：<http://www.cictokyo.jp/access.html>)

【プログラム】 14:00 - 14:10 開会挨拶・趣旨説明

**第1部 脱炭素化をめぐる科学と政策の最前線**

14:10 - 14:50 ①講演「2°C/1.5°C目標と温室効果ガスの排出削減」(仮)

14:50 - 15:30 ②講演「長期戦略とイノベーション」(仮)

15:30 - 15:50 休憩

**第2部 原子力分野に必要なイノベーションとは？**

15:50 - 16:10 ③講演「2019 Nuclear Innovation Bootcamp での学び」

16:10 - 17:20 ④パネル討論「原子力分野に必要なイノベーションとは？」

17:20 - 17:30 閉会挨拶

(18:00～ 懇親会)

- 【講演者】
- ①秋元圭吾氏（公益財団法人地球環境産業技術研究機構）
  - ②松岡秀樹氏（資源エネルギー庁 原子力政策課）
  - ③藤山翔乃氏（三菱総合研究所，2019 Nuclear Innovation Bootcamp 参加者）
  - ④原子力イノベーションに取り組む企業・研究機関等（一部調整中）
    - ・木村礼氏（東芝エネルギーシステムズ株式会社）
    - ・木村芳貴氏（三菱重工業株式会社）
    - ・土屋暁之氏（日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社）
    - ・甲斐聡流氏（株式会社 IHI）
    - ・森本泰臣氏（日揮株式会社）

【対象】 原則として、原子力・放射線分野に従事する 39 歳以下の若手・学生が対象です。

【定員】 50 名程度（応募多数の場合は、先着順とさせていただきます。）

【参加費】 無料  
（会終了後、講師を囲んだ懇親会（実費 5000 円程度）を予定しています。）

【申込/問合せ】 本勉強会への参加を希望される方は、10月30日(水)17時までに、題名を「第13回 YGN 若手勉強会参加申込み」とし、本文に(1)お名前、(2)ご所属、(3)メールアドレス、(4)原子力学会会員区分（正会員/学生会員/非会員）、(5)懇親会の出欠を記載の上、以下の宛先までお申し込みください。

日本原子力学会 若手連絡会（担当：淀忠勝、坂本光（三菱重工業））  
メール：[tadakatsu\\_yodo@mhi.co.jp](mailto:tadakatsu_yodo@mhi.co.jp), [hikaru\\_sakamoto@mhi.co.jp](mailto:hikaru_sakamoto@mhi.co.jp)

【備考】 YGN 若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。  
チャタム・ハウス・ルール：「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。  
また、本勉強会へご参加いただいた皆様に、YGN 活動（勉強会や見学会のご案内など）のメールマガジンを配信させていただきます。

#### <YGN 若手勉強会>

日常業務に捉われない自己研鑽，分野や所属を超えた繋がりのお機会創出のため、2016 年 10 月より継続的に開催。

第 1 回「もんじゅを見つめ直す」（2016 年 10 月）

第 2 回「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」（2017 年 2 月）

第 3 回「原子力の将来とイノベーション」（2017 年 4 月）

第 4 回「次世代小型モジュラー炉:シンプルで安全、そして経済的な選択肢」（2017 年 10 月）

第 5 回「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」（2017 年 11 月）

第 6 回「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」（2018 年 2 月）

第 7 回「原子力プラント建設の技術継承」（2018 年 5 月）

- 第 8 回「著者と語る『日本の原子力外交－資源小国 70 年の苦闘』」(2018 年 7 月)
- 第 9 回「国際協力・海外進出の現状と今後」(2018 年 12 月)
- 第 10 回「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」(2019 年 1 月)
- 第 11 回「原子力プラント建設の技術継承②」(2019 年 5 月)
- 第 12 回「原子力防災に携わる。－現場から研究室、そして現場へ－」(2019 年 9 月)